

平成26年5月

八代港大型客船入出港に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、8万GT級、11万GT級、13万GT級の大型客船3船型について、八代港第1岸壁（-14m）、第2岸壁（-12m）への入出港を調査検討して必要な航行安全対策を取りまとめた。

港内航行及び着離岸の安全性については、対象船型毎の操船性能等を調査して八代港の航行環境における外力影響を、ファストタイム操船シミュレーションを行い確認するとともに、結果から得られた操船上厳しい潮流や風速及び風向を対象に入出港操船の一連の状況を、簡易景観型ビジュアル操船シミュレータを用いて検証した。係留力の算定は、OCIMFの計算手法を用いた。

係留中の安全性について、第2岸壁寄りの係留は、第1岸壁との防舷材に段差を生じることから、第1岸壁にあるアンローダーを避けての係留および第1岸壁を全面利用しての係留も検討した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 基礎資料
- (3) 入出港操船の検討
- (4) 係留の検討
- (5) 航行安全対策の検討